

## 1. 木質バイオマス関連情報

■経産省、7 月 21 日に総合資源エネルギー調査会基本政策分科会（第 46 回会合）を開催。国の中長期的なエネルギー政策の方向性を示す「エネルギー基本計画（素案）」が有識者会議で示された。政府が目標に据えた「2050 年カーボンニュートラル」を視野に、2030 年度に温室効果ガス排出量を 2013 年度比 46%削減する目標の実現に向け、再生可能エネルギーに関し「主力電源として最大限導入する」と明記。約 3,300 億～約 3,500 億 kWh の導入を目指す。同時に提示された「エネルギー需給の見通し（暫定版）」によると、2030 年度の電源構成は現行目標の 22～24%から 36～38%（太陽光が約 15%程度、風力は約 6%程度、地熱は約 1%程度、水力は約 10%程度、バイオマスは約 5%程度）に引き上げるとしている。一方原発は積極活用に向けて必要な新增設やリプレース（建て替え）に関する記載は見送ったものの、「安全性の確保を大前提に、必要な規模を持続的に活用していく」としている。経産省は今後のスケジュールは未定としているが、8 月内に基本計画の改定案を提示し、10 月中に閣議決定する見通し【産経新聞、資源エネルギー庁：2021/07/21】

<https://www.sankei.com/article/20210721-2PSZGOLZ5ZON5MQVZJ4IFJL27A/>

[https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic\\_policy\\_subcommittee/2021/046/](https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/2021/046/)

■（株）中部プラントサービス（愛知）、三重県多気町西山のクリスタル工業ゾーンで計画している木質バイオマス発電所「多気第二バイオパワー」の建設を 9 月に開始へ。同社が運営し、2016 年 6 月から稼働している「多気バイオパワー（発電出力 6,750kW）」の隣にある 6,300 m<sup>2</sup>の用地に建設する予定で、7 月 21 日には安全祈願祭を実施。多気第二バイオパワーの発電出力は 1,990kW、想定年間発電量は 1,630 万 kWh/年（一般家庭約 4,600 世帯分の年間使用電力量に相当）。燃料は多気バイオパワーと同じく木質チップで、三重県などの製材所で発生するものを 3 万 t/年程度使用する。営業運転開始は 2022 年 11 月の予定【（株）中部プラントサービス：2021/07/21、日本経

済新聞：2021/07/28】

<https://home.chubuplant.co.jp/company/wp-content/uploads/2021/07/%E3%80%90HP%E6%8E%B2%E8%BC%89%E5%90%91%E3%81%91%E3%80%91%E5%A4%9A%E6%B0%97%E7%AC%AC%E4%BA%8C%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%91%E3%83%AF%E3%83%BC%E5%AE%89%E5%85%A8%E7%A5%88%E9%A1%98%E7%A5%AD%E3%81%AE%E5%AE%9F%E6%96%BD%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6.pdf>  
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO74231860X20C21A7L91000/>

■大分バイオマスエナジー合同会社（大分）が大分県大分市で建設していた「大分バイオマス発電所」の工事が 7 月 25 日に完了し、営業運転を開始。同社はプラント工事会社の（株）タカフジ（大分）、九電みらいエナジー（株）（福岡）、大分瓦斯（株）（大分）、三菱 HC キャピタル（株）（東京）の 4 社共同で出資、設立。発電設備は三菱パワーインダストリー（株）（神奈川）が受注し、衝動式外部抽気復水型蒸気タービンと単胴自立型自然循環式流動層ボイラなど一式を納入。EPC（設計・調達・施工）は三菱パワーインダストリー、平倉建設（株）（大分）、河野電気（株）（大分）が担当。発電出力は 22,000kW、年間発電量は約 1.5 億 kWh/年（一般家庭約 6 万世帯分の年間消費電力に相当）。FIT に基づき、九州電力（株）（福岡）に売電する。燃料にはインドネシアおよびマレーシア産の PKS を 55%、国産木質チップ（未利用材、一般材）を 45%使用。PKS は 2021 年 4 月に資源エネルギー庁より示されている「事業計画策定ガイドライン（バイオマス発電）」に基づき、持続可能性の確保に関する自主的取り組みを行う。具体的には、燃料調達商社を通じて「環境」「社会・労働」「食料競合」「ガバナンス」の観点から、PKS のサプライチェーンに関する情報を把握し、第三者認証を取得した搾油工場からの PKS 調達を図る。現時点で PKS 調達予定の現地搾油工場のリストも公開している【九電みらいエナジー（株）：2021/07/26、メガソーラービジネス：2021/07/28】  
<https://www.g->

[mirai.co.jp/files/optionallink/00000298\\_file.pdf?1629768319](https://mirai.co.jp/files/optionallink/00000298_file.pdf?1629768319)  
<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/news/00001/01903/?ST=msb>

■(株)日本取引所グループ(東京、以下「JPX」)、気候変動への対応として、2024年度までにJPXグループ全体で消費する電力の100%を再生可能エネルギーに切り替えると発表。今年秋から本社を置く東京証券取引所ビルの電力契約について、RE1001に対応した電力メニューに切り替える。また2022年度には廃油を活用したバイオマス発電設備を保有し、再エネ由来の電力を創出する方向で検討。JPXグループ各拠点における電力需要(オフィス利用、データセンター等利用)に適合した複数の再エネ発電設備の保有を通じて、安定的でクリーンな電力調達手法を導入していくとしている。JPXによると、証券取引所自ら発電設備を保有するのは世界でも例がないという【(株)日本取引所グループ、時事通信社：2021/07/28】

<https://www.jpax.co.jp/corporate/news/news-releases/0090/nlsgeu000005pbb7-att/20210728releasejp.pdf>  
<https://sp.m.jiji.com/article/show/2602007>

■三菱商事(株)(東京)、豪州にて原生林再生プロジェクトを手掛けるAustralian Integrated Carbon社(以下、「エーアイカーボン社」)の株式40%を取得。原生林再生プロジェクトは、過去の伐採や過放牧によって消失した原生林の再生を促すものであり、農家の牧畜プロセス見直し・改善を通じて原生林を再生し大気中のCO<sub>2</sub>を吸収・固着することで、豪州政府が公式に認証するカーボクレジットを獲得・販売する事業。エーアイカーボン社は最大約500万t/年、2050年までに累計約1億tのCO<sub>2</sub>吸収に貢献出来る見込みで、豪州政府が同プロジェクトの導入を奨励し、同国のパリ協定目標達成における重要な取り組みとして位置付けている【三菱商事(株)：2021/07/29】

<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/pr/archive/2021/html/0000047524.html>

■脱炭素化に向けて拡大が見込まれる木質バイオマス発電に関し、総務省が7月30日に製紙業などの木材需給への影響を検証するよう経産、農水両省に要請。各省庁の政策などを調査する政策評価の一環。経産省が7月公表したエネルギー基本計画の改定案では、2030年度の電源構成に占める再生可能エネルギーの比率が36~38%(現行計画は22~24%)に引き上げら

れた。木質バイオマス発電も今後普及が予想されるが、木材の需要増加に伴い、製紙業等既存業種への影響が一部で発生。調達範囲を広げるため県境をまたぐ移動が頻繁になり、温室効果ガス排出量がかえって増える事態も懸念されている。総務省は、木質バイオマス発電をめぐる木材需給の実態を把握することを目的とする調査を農水省、経産省、道県、木質バイオマス発電事業者、森林組合、関係団体等に昨年9月~今年7月まで実施。その結果に基づき、「国が広域的観点から発電事業による木材需給への影響や安定調達可能性を見極めること」や「参入希望者に対して木材調達の実態に即した情報提供の充実を図ること」等の意見を両省の大臣に通知【総務省、時事通信：2021/07/30】

[https://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/hyouka\\_210730000151092.html#kekkaoukoku](https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/hyouka_210730000151092.html#kekkaoukoku)  
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2021073000927&g=eco>

■建設工事業などを手掛ける(株)都実業(神奈川)グループが、神奈川県茅ヶ崎市内で「茅ヶ崎バイオマス発電所」の運転を開始(8月1日)。同社は「グリーンリサイクル事業」として県内3カ所の営業所で剪定枝の持ち込みを受け入れており、そのうちの一つ「グリーンリサイクル茅ヶ崎営業所」に導入した大型の破砕機で製紙会社のバイオマスボイラ用チップ等に加工している。今年4月からは茅ヶ崎営業所に家庭で出た剪定枝等を無料で持ち込めるように(事業者の持ち込みは有料)なり、破砕した剪定枝チップをすぐ隣にある茅ヶ崎バイオマス発電所で電気に、という流れが可能に。出力は1,990kwで、剪定枝のみを燃料としたこの規模の木質バイオマス発電所は日本初。発電した電気は発電所で自家消費し、隣の茅ヶ崎営業所でも使用。余った分は送電網に乗って家庭の電気に。この発電所だけで約4,000世帯分の電気をつくることができるとのこと【Cheeega：2021/08/01、カナロコ：2021/08/09】

<https://cheeega.com/post/6773/>  
<https://www.kanaloco.jp/news/economy/article-626059.html>

■ベビー用品メーカーのピジョン(株)(東京)、東京都中央区にある本社にて、ENEOS(株)が提供する「CO<sub>2</sub>フリー電力メニュー(室蘭バイオマス発電所100%再生可能エネルギー)」の使用を開始したと発表。同メニューではENEOSが調達した非化石証書やJ-クレジット等により、FIT電力をCO<sub>2</sub>排出係数0.000kg-CO<sub>2</sub>/kWhに調整した電力が供給される。ピジョング

ループにおける、100%再生可能エネルギーを使用した初めての事業所となり、CO<sub>2</sub>削減量は約252t/年。室蘭バイオマス発電所はENEOSバイオマスパワー室蘭合同会社が北海道室蘭市で運営するPKS（東南アジア産）専焼の発電所で、2020年5月より商業運転を開始している。発電端出力は74,900kW【ビジョン（株）：2021/08/02、ENEOS（株）】

<https://www.pigeon.co.jp/sustainability/activity/detail/100.html>  
<https://www.eneos.co.jp/denki-business/renewable-energy/index.html>

■（株）タカラレーベン（東京）、7月29日より合同会社富士山朝霧 Biomass（静岡）へ出資を行い、牛ふんを利用したバイオマス発電事業に参入。発電所名称は「富士山朝霧バイオマス発電所（仮称）」で、所在地は静岡県富士宮市。同事業では富士開拓農業協同組合の会員から徴集した牛ふん（17t/日・約350頭分）を燃料に発電を行う。発電容量は100kWh、想定年間発電量は693,792kWh。発電の際に発生する液肥は酪農家および地元農家へ提供し、発電した電力も地元の新電力会社を通して地域へ供給されるため、廃棄物を有効活用しながらクリーンエネルギーを供給する地域循環型共生圏を構築する取り組みとなる。発電施設は環境省による「環境調和型バイオマス資源活用モデル事業」で使用していた施設が解体予定となっていたものを再利用する。着工は2021年7月、運開は2022年度以降の予定【PR TIMES：2021/08/03】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000202.000034534.html>

■岡山県新見市、温泉宿泊施設「新見千屋温泉いぶきの里」にバイオマスボイラ等次世代対応型の設備を導入し、8月10日にリニューアルオープン。1996年に開業。施設の老朽化などで客足が鈍り、指定管理者が撤退して2020年4月に休館していたのを市が大規模改修し、9月には新たな指定管理者に（株）ワールドインテック（福岡）を選定して再開準備を進めていた。大規模改修の事業費は5億9,000万円余り。空調では除湿された外気を室内に送り込む外気処理空調機を導入し、常時換気でコロナ感染を抑止する。木質バイオマスボイラはダレスサンドロ社（イタリア）製木質チップ焚バイオマスボイラで（株）日本サーモエナー（東京）が設置。導入費用は約1億6,000万円。ボイラの燃料となる木質チップは新見市森林組合（新見市）が市内森林などから出る端材などを加工して供給。約788t/年の

木質チップを使い、CO<sub>2</sub>排出を約517t削減できる見込み【日本経済新聞、Yahoo! Japan ニュース：2021/08/04、いぶきの里：2021/08/10】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0CC046400U1A800C200000/>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/70c2a8c7d4bd2d9a8a3e41dc b2b6d925b4b46029>

<https://ibukinosato.jp/news/news3/>

■三井物産（株）（東京）、インドのパンジャブ・リニューアブル・エナジー・システムズに3億ルピー（約4億円）投資へ。パンジャブはバイオマスの原料となる農業廃棄物の収集、貯蔵、加工、バイオマス燃料の生産を手掛けている。インドは農業残渣の野焼きなどによる大気汚染が深刻で、バイオマスエネルギーとしての残渣活用に期待が集まっている。出資を通し環境問題の解決とバイオマス燃料事業の強化をめざす【ロイター：2021/08/05、リム情報開発（株）：2021/08/06】

<https://jp.reuters.com/article/india-mitsui-biofuels-idJPKBN2F603I>

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/rre/1691766.html>

■バイオマス発電事業や再生可能エネルギー事業などを手掛けるエクイスセントラルサービス・ジャパン（株）（東京）が北海道苫小牧市弁天にある工業用地に木質バイオマス発電所の設置を計画していることが明らかに（8月5日）。同社によると、敷地面積は約4万7,000㎡で、従業員数は18人程度。具体的な燃料の種類や調達先、年間発電量、売電先は不明。出力は約5万kW、来年着工し2024年営業運転開始を目指す【北海道新聞：2021/08/05】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/575422>

■経産省、温室効果ガス排出に価格を付ける「カーボンプライシング（CP）」に関する有識者会議「第7回世界全体でのカーボンニュートラル実現のための経済的手法等のあり方に関する研究会」を開催し、中間整理案を提示（8月5日）。先駆的企業が自主的に参加して排出権（クレジット）取引を行う枠組み「カーボンニュートラル（CN）・トップリング（仮称）」や、新たに「カーボン・クレジット市場（仮称）」を創設することが盛り込まれた。CN・トップリングでは参加企業は2050年排出量実質ゼロとする政府目標の達成に向けて2030年時点での排出

量の目標と削減計画を策定し、資本市場へ開示。目標を超過達成した場合は国がクレジット化してカーボンクレジット市場で販売することができ、達しない場合は同市場でクレジットを調達する。カーボン・クレジット市場では、省エネや森林保全の取り組みを認証する「J-クレジット」制度や、海外での取り組みを評価する「二国間クレジット制度（JCM）」など、他制度で認められたクレジットも取引できるようにし、参加者の多様化を図る。今後、具体的な制度設計について専門的な議論を進め、2022年度からの実証開始を目指す【産経新聞、経産省：2021/08/05】

<https://www.sankei.com/article/20210805-7DJBHXM5LC5PCYXZ5FUP4Z4Y/>

[https://www.meti.go.jp/shingikai/energy\\_environment/carbon\\_neutral\\_jitsugen/007.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/carbon_neutral_jitsugen/007.html)

■気候変動に関する政府間パネル（IPCC）、7月26日（月）～8月6日（金）まで第54回総会及び同パネル第1作業部会（WG1）第14回会合をオンラインで開催。WG1はIPCCの三つある作業部会のうち、自然科学的根拠を評価対象とする作業部会。IPCCは2013年の第5次評価報告書（AR5）WG1報告書以来8年ぶりとなる、IPCC第6次評価報告書（AR6）WG1報告書（自然科学的根拠）（以下、「AR6/WG1報告書」）の政策決定者向け要約（SPM）を8月9日（日本時間）に公表。今回初めて気候システムにおける「人間の影響」について「疑う余地がない」と断定しており、その表現が随所に含まれている。世界平均気温は「向こう数十年の間に二酸化炭素及びその他の温室効果ガスの排出が大幅に減少しない限り、21世紀中に、地球温暖化は1.5℃及び2℃を超える」、「極端な高温、海洋熱波、大雨の頻度と強度の増加」といった気候システムの多くの変化は「地球温暖化の進行に直接関係して拡大する」、「過去及び将来の温室効果ガスの排出に起因する多くの変化、特に海洋、氷床及び世界海面水位における変化は、百年から千年の時間スケールで不可逆的」等々、非常に深刻な状況になっていることが伺える内容。国連のグテーレス事務総長は「これは人類に対する厳戒警報だ」と評し、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんは「これまでの何千もの研究や報告書からすでにわかっていたこと、つまり我々が緊急事態にあるということを確認したものだ」とツイッターで発信。AR6/WG1報告書等を基に世界の気候変動対策について議論する国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）は、今年10月31日～11月12

日まで英国・グラスゴーで開催予定【環境省：2021/08/09、朝日新聞：2021/08/15】

<http://www.env.go.jp/earth/ipcc/6th/index.html>

<https://www.asahi.com/articles/ASP8G4V9DP8BULBJ01D.html>

■フォレストエナジー（株）（東京）、群馬県渋川市と環境・エネルギー分野での「包括連携協定」を締結。フォレストエナジーは、2020年度から旧渋川市立上白井小学校（2014年3月末で閉校）に「フォレストエナジー渋川バイオマス研究所」を設けてバイオマスエネルギーに関する研究開発を行っており、今後はバイオマス熱電併給設備の稼働と、その熱を利用した高付加価値いちごのハウス栽培の実証等に取りかかる予定。渋川市との間に定めた「連携協力事項」に基づき、同社が木質バイオマスエネルギー事業を通じて培ってきた知見、経験をフル活用し、渋川市が進める環境、エネルギー、林業、地域防災等の政策に貢献するとともに、バイオマスエネルギーの活用や、エネルギーの地産地消、生涯学習や環境教育など、地域の発展に向けて具体的な連携を進めていく【フォレストエナジー（株）：2021/08/10】

<https://forestenergy.jp/2021/08/11/shibukawa/>

■材料科学スタートアップのAC Biode（京都）、バイオマス発電所が排出する灰をリサイクルするプラントの建設へ向け、タイの電力会社から予備的な調査を受注。AC Biodeは石炭灰やバイオマス灰からフィルタ、マスク、油吸着、土壌改質、美容品等の多機能化学品にリサイクルする技術を持ち、国内外のスタートアップピッチコンテストで25件以上優勝している。今回受注したのはサハ・グループ傘下のサハコゲン・グリーンからで、ランブーン県にあるバイオマス発電所の隣に3年以内に5,000t/年の灰を処理するプラントを設置する。受注額は数千万円【日本経済新聞：2021/08/12、JETRO】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF301650Q1A730C2000000/>

<https://www.jetro.go.jp/events/jbc/circulite.html>

■ジャマイカ政府が統合資源計画（IRP）を通じ、再生可能エネルギーなどのエネルギー源開発に注力。2037年までに風力・太陽光で1,260MW、液体天然ガス（LNG）で330MW、水力・バイオマス・廃棄物エネルギーで74MWを生産できるようにし、ジャマイカの発電容量を今後20年間に約1,600MW拡大

する。再生可能エネルギーの割合は、現在の約 14%から 50%まで高めることが目標【JJI.COM：2021/08/13】

<https://www.jji.com/jc/article?k=2021081300582&g=bnw>

■中部電力（株）（愛知）、丸紅（株）（東京）と共同で出資するぎふ西濃グリーンパワー合同会社（東京）が、8月19日に「ごうどバイオマス発電所」の建設工事に着手したと発表。2020年9月に丸紅が出したニュースリリースでは2021年10月本工事開始予定となっていたが、一カ月以上前倒しになった模様。

同発電所は岐阜県安八郡神戸町の帝人（株）揖斐川事業所敷地内に建設するもので、発電出力7,500kW、想定年間発電電力量は約5,300万kWh（一般家庭約1.7万世帯分に相当）の木質専焼のバイオマス発電所。主に岐阜県内産の未利用間伐材等を木質チップにして燃料とする。2023年3月運開予定【中部電力（株）：2021/08/19、丸紅（株）：2020/09/25】

[https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1206831\\_3273.html](https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1206831_3273.html)

<https://www.marubeni.com/jp/news/2020/release/00023.html>

## 2. ペレット関連情報

■（株）レノバ（東京）、同社の持分法適用関連会社である苅田バイオマスエナジー（株）（福岡）の株式を取得し、子会社化すると発表（7月21日）。苅田バイオマスエナジーは福岡県京都郡苅田町で今年6月に運開した苅田バイオマス発電所（設備容量75.0MW、燃料は木質ペレット、PKS、木質チップ）を運営。レノバは今年2月12日付「苅田バイオマス発電事業における株式の追加取得権に関する契約締結のお知らせ」の中で、同事業の竣工及び諸条件の充足を前提として行使可能な追加取得権を保有していることを公表していた。今回その追加取得権の行使により、共同出資者の一つであるヴェオリア・ジャパン（株）（東京）出資分の10%を7月28日に譲り受け、レノバの出資比率は53.07%に。取得価額は非公表。ヴェオリア・ジャパングループのヴェオリア・ジェネッツ（株）（東京）は変わらず苅田バイオマスエナジーのO&Mを担い、同事業の安定操業に努めるとのこと【（株）レノバ：2021/07/21】

[https://www.renovainc.com/news/business/pdf/20210721\\_02\\_PRESS.pdf](https://www.renovainc.com/news/business/pdf/20210721_02_PRESS.pdf)

■東北電力（株）（宮城）、秋田県能代市の能代火力発電所（計180万kW）で植物を原料とするバイオマス燃料「ブラックペレット」を石炭と混焼する実証事業に着手へ。政府が2030年度に向けて「2013年度比で温室効果ガス排出量46%削減」を目指す新たな目標を示したことにより、同社グループが今年3月に策定した“カーボンニュートラルチャレンジ2050”の取組をさらに加速させることに。「検討・推進体制の強化」を図るとともに、2030年度のCO<sub>2</sub>排出量を2013年度実績から半減させるとする目標を設定。さらに火力の低炭素化・脱炭素化に向け、能代火力発電所の取組の他に「新潟火力発電所における

水素・アンモニアの混焼実証」なども行う。能代火力発電所では現在石炭と木質チップの混焼を行っているが、今年度は事業性評価、2022～2023年度に詳細検討・実証に入り、2024年度以降本格運用に向けた検討を行う。同時に同社の発電所遊休地においてブラックペレットの原料製造にも取り組み、2021～2023年度まで栽培試験、2024年度以降燃料製造を検討する予定【東北電力（株）：2021/07/30、秋田魁新報：2021/07/31】

[https://www.tohoku-](https://www.tohoku-epco.co.jp/news/normal/1220986_2558.html)

[epco.co.jp/news/normal/1220986\\_2558.html](https://www.tohoku-epco.co.jp/news/normal/1220986_2558.html)

<https://www.sakigake.jp/news/article/20210731AK0038/>

■イーレックス（株）（東京）、新潟県北蒲原郡聖籠町に計画している「イーレックス新潟（仮称）に係る計画段階環境配慮書」（以下、「配慮書」）及びこれを要約した書類（以下、「要約書」）を7月29日に経済産業大臣、新潟県知事、新潟市長、聖籠町長へ提出。配慮書及び要約書は7月30日～8月30日までの一か月間各地で縦覧され、意見を受け付ける。同発電所はENEOS（株）（東京）が所有するゴルフコース「新潟サンライズゴルフコース」の一部に整備されるもので、陸域面積約40万m<sup>2</sup>、地先海域面積約0.5万m<sup>2</sup>。港湾設備は公共埠頭を利用した配置となっている。バイオマス発電所は設備出力が約30万kWと、新設のバイオマス発電所としては世界最大級。高効率化を目指し、超々臨界圧再熱式ボイラを採用しているのも世界初。使用する燃料はロシアからの木質系燃料（ペレット）に加え、ベトナム、フィリピン等で試験栽培をしている燃料用ソルガム（ニューソルガム）で、合わせて120t/年使用予定。2023年度中に着工し、2026年度中に運開予定【イーレックス：2021/07/30、2020/11/10、建設通信新聞：2021/08/02】

<https://www.erec.co.jp/news/information/1587/>

<https://www.erec.co.jp/news/pressrelease/1289/>

<https://www.kensetsunews.com/web-kan/596763>

■九電みらいエナジー（株）（福岡）、「下関バイオマス発電所」の主燃料である木質ペレットを積載した燃料輸送第1船「GRAND TAJIMA ONE（約 13,000t）」が、7月30日にベトナムから下関港に入港したと発表。下関バイオマス発電所は同社、西日本プラント工業、九電産業が出資する「下関バイオマスエナジー合同会社」が山口県下関市において運営するバイオマス専焼発電所で、7月2日に初点火して以来、試運転を行っていた。定格出力は74,980kW、年間発電量は約5億 kWh/年（一般家庭の約14万世帯相当）。燃料に木質ペレットを約30万 t/年使用。今後は年間を通してベトナムやカナダから燃料輸送船が入港する予定。荷役・陸上運搬作業は地元企業に委託し、地元の雇用創出、経済活性化に貢献する。2022年2月営業運転開始予定【九電みらいエナジー（株）：2021/08/02】

<https://www.q->

[mirai.co.jp/files/optionallink/00000299\\_file.pdf?1630029965](https://www.q-mirai.co.jp/files/optionallink/00000299_file.pdf?1630029965)

■米国バイオ燃料大手のエンビバ・パートナーズ、日本商社1社と21万 t/年の木質ペレットを供給する長期契約を締結。2025年に供給を開始し、期間は17年間。今回の契約を含め、同社による日本向け木質ペレットの年間供給総量は400万 tに達する。エンビバ・パートナーズの最新（8月17日発行）の投資家向け広報資料によると、2020年のオフテイク契約の購入者はDrax（イギリス）等欧州の大手企業が大半を占めていたが、2025年までには全体の契約量が、2020年の430万 t/年の約1.7倍となる最大730万 t/年まで増加する上、購入者の50%以上は住友商事（株）（東京）や三菱商事（株）（東京）等の日本企業が占める見込み【リム情報開発（株）：2021/08/03、Enviva Partners, LP：2021/08/17】

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/rre/1691479.html>

[https://s28.q4cdn.com/898203682/files/doc\\_presentation/20](https://s28.q4cdn.com/898203682/files/doc_presentation/20)

[21/08/18/EVA-Investor-Presentation-August-17-2021-](https://s28.q4cdn.com/898203682/files/doc_presentation/2021/08/18/EVA-Investor-Presentation-August-17-2021-FINAL.pdf)

[FINAL.pdf](https://s28.q4cdn.com/898203682/files/doc_presentation/2021/08/18/EVA-Investor-Presentation-August-17-2021-FINAL.pdf)

■イーレックス（株）（東京）グループ会社の（株）沖縄ガスニューパワー（沖縄、以下「OGNP」）が、大和ハウス工業（株）沖縄支店（沖縄）に「美ら島CO<sub>2</sub>ゼロプラン」による電力供給

を開始。OGNPは2016年4月より小売電気事業を開始し、中城バイオマス発電所が2021年7月20日に運転を開始するのに合わせて、7月1日よりRE100へ適用可能な美ら島CO<sub>2</sub>ゼロプランの販売を開始。中城バイオマス発電所の定格出力は49,000kW、燃料はPKSおよび木質ペレットを約20~25万 t/年使用。今回の契約はこの中城バイオマス発電所由来のFIT電気にトラック付非化石証書等を付加することにより、実質再生可能エネルギー100%の電力を供給するもので、2021年10月1日から供給を開始する予定【（株）沖縄ガスニューパワー：2021/08/05】

<https://ognp.co.jp/topics/1627966579/>

■（株）ゼロ（神奈川）、連結子会社である荻田港海陸運送（株）（福岡）が2021年6月に運開した荻田バイオマス発電所で使用される燃料の港湾荷役業務を受託・開始したと発表。同発電所は（株）レノバ（東京）、住友林業（株）（東京）、ヴェオリア・ジャパン（株）（東京）、九電みらいエナジー（株）（福岡）、三原グループ（株）（福岡）が出資する事業主体「荻田バイオマスエナジー（株）」（福岡）が運営しており、発電容量は約75.0MW、想定年間送電量は約500GWh/年。燃料に木質ペレット、木質チップ（国内未利用材）、主にインドネシアからのPKSを使用【（株）ゼロ：2021/08/05】

<https://www.zero->

[group.co.jp/Portals/0/images/ir/library/pdf/zero%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E7%99%BA%E9%9B%BB%E7%94%A8%E7%87%83%E6%96%99%E3%81%AE%E6%B8%AF%E6%B9%BE%E8%8D%B7%E5%BD%B9%E6%A5%AD%E5%8B%99%E9%96%8B%E5%A7%8B%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B%E3%80%9020210805%E9%96%8B%E7%A4%BA%E3%80%91.pdf?TabModule660=0](https://www.zero-group.co.jp/Portals/0/images/ir/library/pdf/zero%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E7%99%BA%E9%9B%BB%E7%94%A8%E7%87%83%E6%96%99%E3%81%AE%E6%B8%AF%E6%B9%BE%E8%8D%B7%E5%BD%B9%E6%A5%AD%E5%8B%99%E9%96%8B%E5%A7%8B%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B%E3%80%9020210805%E9%96%8B%E7%A4%BA%E3%80%91.pdf?TabModule660=0)

■（株）レノバ（東京）が、宮城県石巻市で建設中の「石巻ひばり野バイオマス発電所」の立柱式を8月5日に実施。同発電所はレノバ、東京ガス（株）（東京）、ユナイテッド計画（株）（秋田）、みずほリース（株）（東京）が出資する「合同会社石巻ひばり野バイオマスエナジー」を発電事業者とする、設備容量74.95MW、想定年間発電量約53,000万 kWh（一般家庭約17万世帯の年間使用電力量に相当）の国内最大級のバイオマス専焼発電所。燃料には木質ペレットおよびPKSを使用する。土木

基礎工事が進み、今後はボイラ、タービンなど発電所主要設備の建設を本格化させていく。2023年5月の営業運転開始を目指す【(株)レノバ：2021/08/10】

[https://www.renovainc.com/development/ishinomaki\\_hibarino\\_biomass/202108\\_2673/](https://www.renovainc.com/development/ishinomaki_hibarino_biomass/202108_2673/)

■インドネシアの国営プラント・産業機械メーカーのバラタ・インドネシアが、マレーシアのバイオマス燃料製造会社ツリーハウス・アジアと提携し、バイオマス燃料工場を建設する計画を発表（8月12日）。マレーシアのパハン州に木質ペレット工場を建設する【NNA ASIA：2021/08/13】

<https://www.nna.jp/news/show/2225064>

■長野県伊那市、地球温暖化防止に向けてCO<sub>2</sub>削減を目指す「伊那から減らそうCO<sub>2</sub>!!」（市二酸化炭素排出抑制計画、2016～25年度）の2020年度末の進捗状況をまとめ、公表。それによると、市内一般家庭のCO<sub>2</sub>総排出量に対する再生可能エネルギーなどによる抑制割合を53%にする目標は2020年度末で30%となり、前年度より4ポイント上昇。目標達成率は56.6%に。CO<sub>2</sub>抑制量4万1,825tのうちペレット・薪ストーブや太陽熱温水器などの熱利用が最も多く、4,052tだった。また再生可能エネルギーのうち、ペレットや薪などの木質バイオマス設備導入に

よるCO<sub>2</sub>抑制量を8倍（9,960t）にする目標については2020年度末で3倍（3,672t）となり、前年度を204t上回って目標達成率は37.0%となった。同計画では当初、市内一般家庭のCO<sub>2</sub>総排出量に対する再生可能エネルギー等による抑制割合を25%にする目標を設定したが、2019年度末で達成。木質バイオマス設備導入によるCO<sub>2</sub>抑制量を3倍にする当初目標も達成する見通しとなったため、ともに大幅上方修正した【Nagano Nippo Web:2021/08/17】

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/81790>

■木材・木製品製造業の福島パルムシー（株）（福島県双葉郡葛尾村）が、葛尾村東部産業団地に木質のチップやペレットなどバイオマス燃料を製造販売する「葛尾バイオステーション（仮称）」新設へ。8月18日、同社と村が企業立地に関する協定を締結。同社によると、面積約3,700㎡に鉄骨平屋の工場と鉄骨3階建ての事務所を建て、約30人雇用する予定。総工費は約15億円で国の補助金を一部活用する。製造したバイオマス燃料は県内外の発電所などに販売する方針。12月に着工し、来年10月の操業開始を目指す【福島民友新聞：2021/08/19】

<https://www.minyu-net.com/news/news/FM20210819-648734.php>

### 3. イベント情報（国内）

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。

※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■（公財）SOMPO 環境財団、他「市民のための環境公開講座2021」

PART1：気候変動とエネルギーの転換

2021年9月1日（水）

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2021/>

■（株）新社会システム総合研究所「企業は炭素クレジットと二国間クレジット制度をどう活用すべきか～カーボンニュートラルを見据えた日本の政策・制度と実務～」

2021年9月2日（木）

SSK セミナールーム（東京都港区）/Zoom ライブ配信/アーカイブ配信

<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=21370>

■若手林業ビジネスサミット in 2021【長野日程】一カコを繋いで、ミライに花咲く地域資源！

2021年9月4日（土）

長野県（小海町、南相木村、大町市）

<https://peatix.com/event/2183055>

■（公社）日本水環境学会第30回市民セミナー「温暖化対策としてのブルーカーボンの可能性を探る～研究の最新動向と今後の展望～」

2021年9月7日（火）

オンライン

<https://www.jswe.or.jp/event/seminars/citizenseminars.html>

■（特非）日本環境倶楽部 ゼロカーボン達成研究セミナー 第1回「第6次エネルギー基本計画と2050年の脱炭素社会に向けたシナリオ」

2021年9月8日（水）

ZOOMによるリモート形式の開催

<https://www.kankyoclub.or.jp/event/2109-1.html>

■国立研究開発法人協議会 シンポジウム「科学技術が未来を拓く～SDGsのその先へ～」

2021年9月9日（木）

日本科学未来館（東京都江東区）7階 未来館ホール/オンライン

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2021/20210909kokkenkyou/index.html>

■（一社）日本エネルギー学会バイオマス部会 令和3年度「バイオマス夏の学校」

2021年9月14日（火）

ZOOMによるオンライン開催

<https://www.jie.or.jp/publics/index/472/#block981-895>

■NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク第198回研究会「安曇野バイオマスエネルギーの小規模木質バイオマスガス化トリジェネ～熱、CO2はトマト栽培に最大限利用～（仮題）」

2021年9月15日（水）

オンライン

<https://www.npobin.net/apply/>

■（株）新社会システム総合研究所「バイオ戦略と気候変動をめぐる政策、課題～バイオ分野の大変革の潮流と市場拡大への推進、欧州他海外動向を踏まえた日本の今後～」

2021年9月15日（水）

SSK セミナールーム/ライブ配信/アーカイブ配信

<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=21373>

■（公財）SOMPO環境財団、他「市民のための環境公開講座2021」

PART1：気候変動とエネルギーの転換

2021年9月15日（水）

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2021/>

■開発教育協会「開発教育教材体験WS「パーム油のはなし2 知る・考える・やってみる！熱帯林とわたしたち」

2021年9月22日（水）

オンライン開催

<http://www.dear.or.jp/event/7341/>

■NEDO、他「SMART COMMUNITY SUMMIT 2021」

2021年9月22日

Web（YouTube ウェビナー）開催

[https://www.nedo.go.jp/events/SE\\_100001\\_00004.html](https://www.nedo.go.jp/events/SE_100001_00004.html)

■若手林業ビジネスサミット in 2021【福井日程】一考えよう！これまでとこれからの森づくりー

2021年9月25日（土）

池田町交流会館（福井県池田町）

<https://peatix.com/event/2183055>

■認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉「第19回環境問題の現況と将来を展望するセミナー

『脱炭素社会のゆくえ』

2021年9月27日（月）

埼玉会館3C会議室（埼玉県さいたま市）/オンライン（Zoom ウェビナー）

<https://www.kannet-sai.org/about/activities/2021/0927.html>

■（公財）SOMPO環境財団、他「市民のための環境公開講座2021」

PART1：気候変動とエネルギーの転換

2021年9月29日（水）

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2021/>

◎RX Japan (株)「第1回国際バイオマス展【秋】」

2021年9月29日(水)～10月1日(金)

東京ビッグサイト青梅展示棟(東京都江東区)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp/lp->

[visp.html?utm\\_source=google&utm\\_medium=cpc&utm\\_campaign=bm&gclid=EAlalQobChMl18-](https://www.bm-expo.jp/ja-jp/html)

[f5dyC8glVwrWWCh2pVAIcEAMYASAAEgJ8ffD\\_BwE](https://www.bm-expo.jp/ja-jp/html)

[https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html](https://www.bm-expo.jp/ja-jp/html)

■ビューローベリタスジャパン(株)「脱炭素経営 ネットゼロ社会実現のための企業戦略～2050年に向けての提言～」

2021年10月7日(木)

御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター(東京都千代田区)/オンライン(ライブ配信)

<https://www.bureauveritas.jp/newsroom/cer/210818>

■第44回全国育樹祭北海道実行委員会「第44回全国育樹祭」

2021年10月9日(土)～10日10日(日)

北海道苫小牧市

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/zij/index.htm>

■(一社)林業機械化協会「2021森林・林業・環境機械展示実演会」

2021年10月10日(日)～11日(月)

北海道苫小牧市

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

■NPO法人九州バイオマスフォーラム「暖談の会2021」(一回目)

2021年10月16日(土)

グリーンピア南阿蘇(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)

<https://kbiomass.org/2021/08/27/%e6%9a%96%e8%ab%87%e3%81%ae%e4%bc%9a%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99-2/>

■NPO法人九州バイオマスフォーラム「暖談の会2021」(二回目)

2021年10月23日(土)

グリーンピア南阿蘇(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)

<https://kbiomass.org/2021/08/27/%e6%9a%96%e8%ab%87%e3%81%ae%e4%bc%9a%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99-2/>

■NPO法人九州バイオマスフォーラム「暖談の会2021」(三回目)

2021年10月30日(土)

グリーンピア南阿蘇(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)

<https://kbiomass.org/2021/08/27/%e6%9a%96%e8%ab%87%e3%81%ae%e4%bc%9a%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99-2/>

◎RX Japan(株)「スマートエネルギーWeek内バイオマス展【関西展】」

2021年11月17日(水)～11月19日(金)

インテックス大阪(大阪府大阪市)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■応用森林学会「第72回応用森林学会大会」

2021年11月20日(土)～22日(月)

オンライン開催

<http://applforsci.jp/>

■林業経済学会「林業経済学会2021年秋季大会」

2021年12月1日(水)～10日(金)

※口頭発表は12月4日(土)～5日(日)

オンライン開催

[http://www.jfes.org/kenkyukai/JFES\\_2021\\_Fall/2021\\_fall.html](http://www.jfes.org/kenkyukai/JFES_2021_Fall/2021_fall.html)

■第23回エコプロ2021

2021年12月8日(水)～10日(金)

東京ビッグサイト東ホール(東京都江東区)

<https://eco-pro.com/eco2021/>

■（一社）日本エネルギー学会バイオマス部会「第17回バイオマス科学会議」

2022年1月19日(水)～20日(木)

オンライン開催

<https://www.jie.or.jp/publics/index/810/>

■日本エネルギー学会バイオマス部会「第9回アジアバイオマス科学会議」

2022年1月21日(金)

オンライン会議 (Zoom)

<https://www.jie.or.jp/publics/index/805/>

■再生可能エネルギー協議会「第16回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」

2022年1月26日(水)～28日(金)

東京ビッグサイト東ホール&会議棟(東京都江東区)

<https://www.renewableenergy.jp/2022/jp/>

◎RX Japan(株)「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【春展】

2022年3月16日(水)～18日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■（一社）日本森林学会「第133回日本森林学会大会」

2022年3月27日(日)～29日(火)

オンライン開催(公開シンポジウムは山形市で開催)

<https://www.forestry.jp/>

#### 4. イベント情報(海外)

■3rd European Conference / Biogas & Biogas Upgrading Biogas PowerON

2021年9月1日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biogas-poweron-2021,4,en,2,1,14.html>

■Expobiogaz 2021

2021年9月1日(木)～2日(金)

メッス(フランス)

<https://www.expo-biogaz.com/en>

■Svevio Fuel Market Day

2021年9月7日(火)

オンライン/ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-day-2/>

■tcbiomass2021

2021年9月14日(火)～16日(木)

コロラド州デンバー(USA)

<https://www.gti.energy/training-events/tcbiomass/>

■3rd European Conference / Trade & Power Biomass PowerON 2021

2021年9月15日(水)～16日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2021,4,en,2,1,12.html>

■ Agricultural Residues Valorization - Opportunities with Torrefaction

2021年9月20日(月)

オンライン

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/236-agricultural-residues-valorisation-opportunities-with-torrefaction.html>

■Wood Energy Conference 2021

2021年9月20日(月)～23日(木)

デジタル会議

<https://www.fachkongress-holzenergie.de/en>

©Advanced Biofuel Conference 2021

2021年9月21日(火)～23日(木)

オンライン/ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2021/>

■EXPO BIOMASA 2021

2021年9月21日(火)～23日(木)

バリャドリッド(スペイン)

<https://www.expobiomasa.com/en/salon-gas-renovable>

■RWM & Future Resource 2021

2021年9月22日(水)～23日(木)

バーミンガム(UK)

<https://www.rwmexhibition.com/>

■Progress in Biogas V

2021年9月22日(水)～24日(金)

オンライン会議

<https://ibbk-biogas.com/schedule/progress-in-biogas/>

©Working Group Domestic Heating

2021年9月30日(木)

オンライン

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/237-working-group-domestic-heating.html>

■Future of Energy Now

2021年10月4日(月)～8日(金)

オンライン

<https://www.all-energy.co.uk/en-gb.html>

■Biogas PowerON & Future of Biofuels 2021

2021年10月5日(火)～6日(水)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biogas-poweron-2021,4,en,2,1,14.html>

■EFIB 2021

2021年10月6日(水)～7日(木)

ウィーン(オーストリア)

<https://efibforum.com/>

■European Biogas Conference 2021

2021年10月26日(火)～27日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.europeanbiogas.eu/european-biogas-conference-2021/>

■POWERGEN INDIA

2021年10月27日(水)～29日(金)

ニューデリー(インド)

<https://www.powergen-india.com/>

■17th Carbon Dioxide Utilisation Summit

2021年10月27日(水)～28日(木)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2/>

■COP26

2021年11月1日(月)～12日(金)

グラスゴー(UK)

<https://ukcop26.org/>

■2021 Value of Biogas West Conference

2021年11月9日(火)～10日(水)

ブリティッシュコロンビア州バンクーバー(カナダ)

<https://biogasassociation.ca/vob2022/page/vobwest2021>

©European Biomass to Power Conference 2021

2021年11月17日(木)～18日(金)

マンチェスター(UK)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

■31st BIOGAS Convention & Trade Fair

2021年11月22日(月)～26日(金)

デジタル会議

<https://www.biogas-convention.com/en/>

■Future of Biogas Europe Summit 2021

2021年11月24日(水)～25日(木)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■IEA Bioenergy Triannual Online Conference 2021 “Bioenergy - A critical part of the path to carbon neutrality”

2021年11月29日(月)～12月9日(木)

オンライン

<https://www.ieabioenergyconference2021.org/>

■WOODEX

2021年11月30日(火)～12月3日(金)

モスクワ(ロシア)

<https://woodexpo.ru/Home>

◎Fuels of the Future 2022

2022年1月24日(月)～25日(火)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.fuels-of-the-future.com/en/programme/programme-overview>

■bio360

2022年1月26日(水)～27日(木)

ナンテ(フランス)

<https://www.bio-360.com/en/>

■15h Annual International Biomass Conference & Expo

2022年3月14日(月)～16日(水)

フロリダ州ジャクソンビル(USA)

<http://www.biomassconference.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◎The International Biomass Congress & Expo

2022年3月15日(火)～16日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

[https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass\\_index\\_2022.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2022.php)

■The International Biogas Congress & Expo

2022年3月15日(火)～16日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

[https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas\\_index\\_2022.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index_2022.php)

◎The 13th Biofuels International Conference & Expo

2022年3月15日(火)～16日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

[https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels\\_index\\_2022.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2022.php)

■Bio360 Week

2022年3月22日(火)～26日(土)

バーチャルイベント

[https://public.message-business.com/emailing/25115/1807/r16azizyvpmpvfjhjzagfbiigjjyzsehhe/emailing.aspx?utm\\_campaign=Bio360+6&utm\\_medium=Emailing&utm\\_source=Sendethic](https://public.message-business.com/emailing/25115/1807/r16azizyvpmpvfjhjzagfbiigjjyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Bio360+6&utm_medium=Emailing&utm_source=Sendethic)

■2022 Value of Biogas East Conference

2022年4月12日(火)～13日(水)

オンタリオ州トロント(カナダ)

<https://biogasassociation.ca/vob2022/page/vobeast2022>

■Carrefour International du Bois

2022年6月1日(水)～3日(金)

ナンテ(フランス)

<https://www.timbershow.com/en/>

■Elmia Wood 2022

2022年6月2日(木)～4日(土)

ヴァガリード(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/en/wood/>

■16th International Conference BIOMASS for ENERGY

2022年9月

キエフ(ウクライナ)

<https://uabioconf.org/en/>

## 5. 2021 年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報（都道府県順）

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

### 【栃木県】

◇市貝町「家庭用省エネ設備設置費補助金」

[https://www.town.ichikai.tochigi.jp/forms/info/info.aspx?info\\_id=47960](https://www.town.ichikai.tochigi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=47960)

### 【長野県】

◆須坂市「須坂市ペレットストーブ等設備導入費補助金」

<https://www.city.suzaka.nagano.jp/contents/imagefiles/165010/files/pelet/yoko.pdf>

◇松本市「松本市ペレットストーブ購入事業補助金」

<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/kurasi/sigoto/ringyo/osirase/peretto.html>

### 【島根県】

◇津和野町「津和野町ペレットストーブ等購入補助金」

<http://www.tsuwano.net/www/contents/1355814871354/index.html>

## 6. 公募等情報（締切順）

■新潟県「令和3年度新潟県再生可能エネルギー設備導入促進事業補助金の二次公募実施中」

公募期間 2021年7月21日（水）～9月10日（金）

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sogyosuishin/1356915935143.html>

■NEDO「2021年度『新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業』に係る第2回公募について

受付期間：2021年8月25日（水）～9月29日（水）

[https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2\\_100313.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100313.html)

■北海道「エネルギー地産地消事業化モデル支援事業（新エネルギー有効活用モデル）」

公募期間 2021年7月28日（水）～9月29日（水）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/emodel-yukokatsuyo.html>

■北海道「『ゼロカーボン北海道』貢献への新エネ導入支援事業新エネルギー設計支援事業」

公募期間 2021年7月28日（水）～9月29日（水）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sekkeishien.html>

■北海道「『ゼロカーボン北海道』貢献への新エネ導入支援事業新エネルギー設備導入支援事業」

公募期間 2021年7月28日（水）～9月29日（水）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/setsuidounyuu.html>

■北海道「令和3年度（2021年度）地域資源活用基盤整備支援事業費補助金」

公募期間 2021年7月28日（水）～9月29日（水）

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/kiban.html>

■滋賀県「令和3年度滋賀県地域エネルギー活動支援事業補助金」

募集期間 2021年5月17日（月）～9月30日（木）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/311680.html>

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和3年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金公募情報（地域マイクログリッド構築事業）」

公募期間

・3次締切：2021年9月30日（木）

・4次締切：2021年10月29日（金）

<https://sii.or.jp/microgrid03/note1.html>

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和3年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金公募情報（導入プラン作成事業）」

公募期間

・3次締切：2021年9月30日（木）

・4次締切：2021年10月29日（金）

<https://sii.or.jp/microgrid03/note2.html>

■（一財）環境イノベーション情報機構「令和3年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）の補助事業者の公募（四次公募）」

公募期間 2021年8月20日（金）～9月30日（木）

<https://www.eic.or.jp/eic/topics/2021/resi/007/>

■（一財）環境イノベーション情報機構「令和2年度（第3次補正予算）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）の補助事業者の公募（五次公募）」

公募期間 2021年8月20日（金）～9月30日（木）

[https://www.eic.or.jp/eic/topics/2021/resi\\_r02c/013/](https://www.eic.or.jp/eic/topics/2021/resi_r02c/013/)

■（一社）環境技術普及促進協会「令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(PPA 活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業)(5)再エネの価格低減に向けた新手法による再エネ導入事業に係る公募」

公募期間

・3次公募：2021年9月9日（木）～10月8日（金）

[http://www.eta.or.jp/offering/21\\_07\\_keikaku/210618.php](http://www.eta.or.jp/offering/21_07_keikaku/210618.php)

■（独）環境再生保全機構「環境研究総合推進費」

公募期間 2021年9月21日（火）～10月26日（火）

[https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/r04\\_koubo\\_1.html](https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/r04_koubo_1.html)

■（一財）セブンイレブン記念財団「2022年度環境市民活動助成」

応募受付期間 2021年9月20日（月）～10月31日（日）

<https://www.7midori.org/josei/>

■（公財）廃棄物・3R研究財団「令和3年度『二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO2削減支援事業）』」

公募期間 2021年5月11日（火）～11月30日（火）

[https://www.jwrf.or.jp/individual/prj\\_000369.html](https://www.jwrf.or.jp/individual/prj_000369.html)

■埼玉県「【令和3年度】埼玉県分散型エネルギー利活用設備整備費補助金」

公募期間 2021年5月17日（月）～12月17日（金）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0503/bunnsanngata-hozyo.html>

■（公財）ひょうご環境創造協会「令和3年度中小事業者省エネ設備等導入支援事業補助金」

募集期間 2021年5月10日（月）～12月24日（金）

<http://www.eco-hyogo.jp/global-warming/tyuushou2021/>

■静岡県浜西市「浜西市木質バイオマス設備導入支援事業費補助金」

受付期間 2021年4月15日（木）～2022年1月31日（月）

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin->

[ene/new\\_ene/mokushitsuhojokin.html](http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/mokushitsuhojokin.html)

■東京都地球温暖化防止活動推進センター「地産地消型再エネ増強プロジェクト」

受付期間 2021年4月1日（木）～2022年3月31日（木）

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/chisan-zokyo>

■東京都「地方卸売市場省エネルギー等対応施設整備補助金」

受付期間 2017年4月1日（土）～2022年3月31日（木）

<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai->

[portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf](http://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai-portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf)

■農水省「農林漁業者とバイオ燃料製造業者の連携によるバイオ燃料製造支援」

適用期限 ～2022年3月31日（木）

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

■東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度

[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy\\_others/municipal\\_support/current.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html)

■静岡県富士市「令和3年度中小企業者温暖化対策事業費補助金」

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kurashi/c0903/rn2ola00000cn7d.html>

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

[http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki\\_int/reiki\\_honbun/r254RG00001291.html](http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html)

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

[http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki\\_honbun/r191RG0000129.html#e000000030](http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030)

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■（公財）日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

[https://www.jeas.or.jp/activ/prom\\_24\\_00.html](https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html)

※融資制度

■横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyou-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>